

動作確認と本体の設定

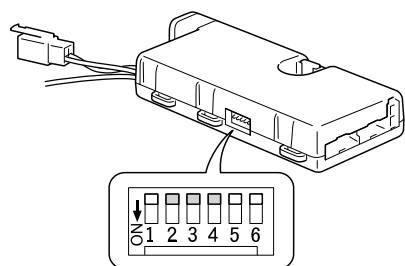
車両の特性や使用環境に合わせて本体の設定をする必要があります。

1 初期設定を行い、動作を確認します。

- すべての配線が完了した状態で、本体のID書込ランプが約1秒間隔で点滅していることを確認してください。
※ LEDが常に点灯している場合は、本体の設定スイッチ6がONになっていないか確認してください。
LEDが点滅しない場合は、フットブレーキハーネスを本体から一旦引き抜き、15秒以上経過後、再び本体に接続してください。
接続してもLEDが点滅しない場合は、各配線の接続を確認してください。

2) 本体の設定スイッチ2~4の設定を確認します。

- ※メモ 通常は標準設定(通常)のまま使用してください。
- ※メモ 店頭の「車種別ハーネス適合表」や「車種別ピットマニュアル(取り付け情報)」に設定方法が記載されている車種のみ、設定を変更してください。
- 参考 正しく設定しないと、リモコン操作で正常にエンジンがかからない場合があります。



●車種設定

スイッチ2	スイッチ3	スイッチ4	車種設定
OFF	OFF	OFF	通常(標準設定)
ON	OFF	OFF	特殊1
OFF	ON	OFF	特殊2
ON	ON	OFF	特殊3

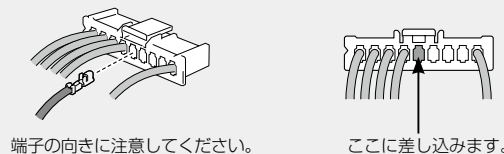
■は工場出荷時設定です。

- 純正のスマートキーを車内に持ち込み、ドアを一旦閉め、車両本来の方法(エンジンスイッチ)でエンジンを始動すると、イモビライザーの通信データを本体に読み込みます。読み込みが完了するとID書込ランプが3回点滅した後、消灯します。
- エンジンを切りドアを開け、純正のスマートキーを車から離れた場所へ移動させた後、リモコンでエンジンスタートの操作を行い、エンジンが正常に始動するか確認してください。
※ エンジンスイッチがACC、イグニッションONの状態ではリモコンでエンジンが始動できません。
エンジンスターター使用の際にはエンジンスイッチをOFFの状態にしておいてください。
※メモ 車種設定を誤ったまま、イモビライザーのデータを登録してしまった場合は、フットブレーキハーネスを一旦抜き、15秒経過後、再び本体に接続して登録データを消去してから、再度車種設定し直し、データを登録してください。
※メモ エンジンがかからないときは、取扱説明書の「エンジンスターター機能が作動しないとき」を参照して対処してください。

サイドブレーキ配線が必要な場合は、2~4の作業を行ってください。

※メモ 寒冷地などでパーキング(サイド)ブレーキをかけずに駐車する場合は、この作業は不要です。

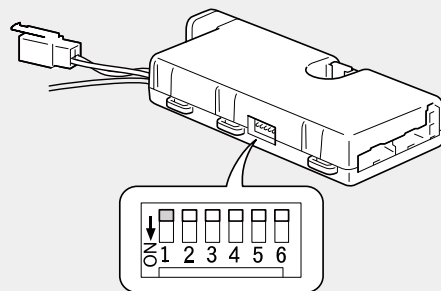
2 付属のサイドブレーキ検出コードを車種別専用ECUハーネス(別売)の9Pコネクターの指定位置に接続します。



3 市販のワンタッチコネクタで、サイドブレーキ検出コード(橙)を車両のコードに取り付けます。

☞配線場所はピットマニュアル参照

4 設定スイッチ1「パーキングブレーキ検出」を「検出する(下側)」にします。



●パーキングブレーキ検出設定

スイッチ1	パーキングブレーキ検出
OFF	検出しない(標準設定)
ON	検出する

■は工場出荷時設定です。

ドアロック配線を行う場合は、5~6の作業を行ってください。

△注意 車種によってはドアロック機能が使用できないことがあります。店頭の車種別ハーネス適合表、または当社ホームページで確認してください。適合しない車両に配線すると、車両故障や不具合の原因になります。

5 ドアロック機能を使用するときは、次のように配線します。

- 別売のドアロックコード(TE202)の緑コードと青コードを車両に取り付けます。
☞配線場所はピットマニュアル参照
- ドアロックコードのコネクタをしっかり差し込みます。

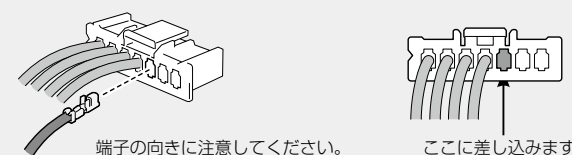
6 ドアロック配線を行った場合は車両のドアをすべて閉めて、ドアロック機能の動作を確認します。

オートライト車対応コードの配線を行う場合は7~9の作業を行ってください。

△注意 車種によっては、オートライト車対応コードが使用できない、または不要場合があります。店頭の車種別ハーネス適合表、または当社ホームページで確認してください。適合しない車両に配線すると、車両故障や不具合の原因になります。

※メモ オートライト車対応コードを配線した場合、エンジンスターターを使用した際、エンジン停止後に車両の室内灯が点灯します。(点灯時間は車両の仕様により異なります)

7 別売のオートライト車対応コード(TE204)を、プッシュスイッチハーネスの7Pコネクターの指定位置に接続します。



8 TE204に付属のワンタッチコネクタで、オートライト車対応コードを車両のコードに取り付けます。

☞配線場所はピットマニュアル参照

9 設定スイッチ5「イルミ検出」を「検出しない(下側)」にします。

●イルミ検出設定

スイッチ5	イルミ検出
OFF	検出する(標準設定)
ON	検出しない

■は工場出荷時設定です。

△注意 オートライト車対応コードの配線が誤っていたり、配線をせずにイルミ検出の設定を「検出しない」に切り替えると、エンジンスターターを使用した際、エンジン停止後もヘッドライトが消灯せず、バッテリーが上がるおそれがあります。

10 本体を付属の結束バンド(大)でアンダーダッシュ内にしっかりと固定し、余ったコード類を付属の結束バンド(小)で運転の妨げにならないように束ねます。

11 付属の危険シールを、エンジンルーム内の目立つところに貼り付けます。

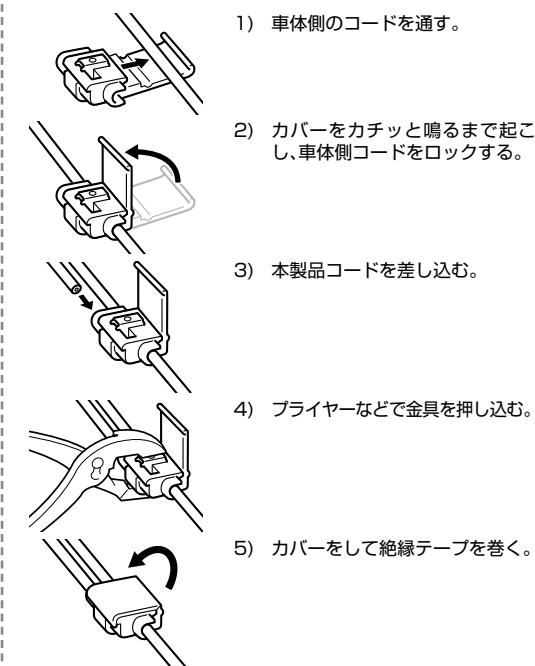


これで本体の取り付けと設定は完了です。

参考

車種別ピットマニュアル(取り付け情報)もご覧ください。ピットマニュアルの参照方法は、店頭の車種別ハーネス適合表をご覧ください。ただし、ピットマニュアルはオプションなどすべての配線を網羅するものではありませんので、あらかじめご了承ください。

ワンタッチコネクタの使いかた



取り付けに関するお問い合わせ先
 カーメイトサービスセンター
 Tel:(03)5926-1216(代表)
 Fax:(03)5926-1218